

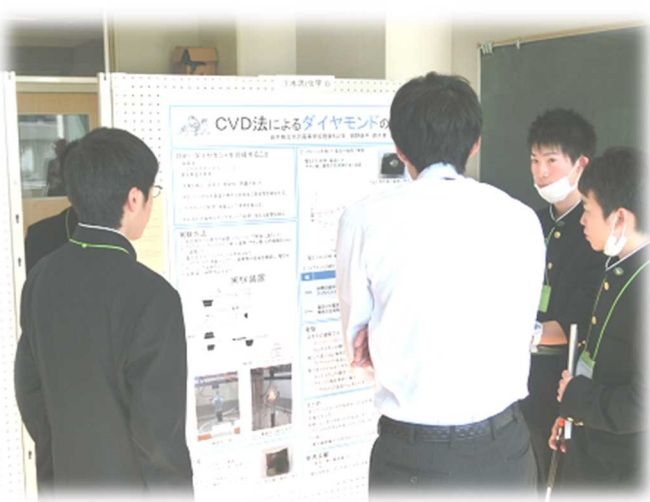
## 理数科2年が有機化学高校生講座に参加

平成27年10月17日、盛岡第三高校にて開催された「有機化学高校生講座」に理数科2年が参加しました。この講座は国際有機化学財団が主催したセミナーで、有機化学・合成化学の世界に対する理解を深めるため、県内のSSH校（盛岡第三高校、釜石高校、水沢高校）を中心に呼びかけて実施したものです。講座では村井眞二先生（大阪大学名誉教授）、上村大輔先生（神奈川大学教授・名古屋大学名誉教授）、清水正毅先生（京都工芸繊維大学教授）、井上正之先生（東京理科大学教授）ら著名な研究者から化学に関する興味深い講演を聴くことが出来ました。特に、村井先生は有機化学では最も難しいと言われた炭素-炭素結合の形成に触媒を用いて成功させるなど、世界的な業績を数多く挙げた研究者です。このように現在も活躍されている研究者から、化学や研究に関して直接話が聞ける貴重な機会に恵まれました。

また、昼の時間を利用して県内のSSH校による課題研究のポスター発表会が行われ、課題研究の内容を通じて研究者や他のSSH校の生徒と交流することが出来ました。



科学の最前線を講演する村井眞二先生（大阪大学名誉教授）



県内のSSH校による課題研究のポスター発表をする生徒ら

### 岩手県SSH校合同課題研究ポスター発表会の感想

- ✓ 実験データ数の確保が研究において大切だと学びました。今後の課題を挙げる際は、ただ課題を見つけるだけでなく、解決・改善方法も一緒に考えていくことが重要だと改めてわかりました。
- ✓ ポスターセッションは、中間発表会とは違う発表形式に少し戸惑ってしまいました。ポスター発表の講評でもいわれていたが、ポスターを見ただけで全部わかるような、グラフなどの資料の単位などが不足していたので、今後は気をつけたいと思う。
- ✓ ポスター発表では、自分たちの発表にまだまだ隙があると感じました。条件がそろっていなかったり、目的があやふやだったり、今後改善すべき点が多く見られました。そして、ポスターを見たときの印象が大切だと感じました。
- ✓ ポスター発表は大勢の前で発表するときと、また違った難しさがありました。短い説明にまとめて相手に理解してもらおうと思いましたが、他校の生徒たちはよくわからないという顔をしていた。
- ✓ ポスター発表はスムーズに発表できたし、質問にも答えることができたが、まだまだ力不足だと感じたので練習を積んでいきたい。他校の発表に質問して、交流を図ることができたのはよかった。改善すべき点は多くあるので、今回学んだ事を生かしよりよいものをつくれるように、チョコレートを食べながら頑張りたい。（国別一人当たりのチョコレートの消費量とノーベル賞受賞者の数には、相関関係があるという講演があった）

